<定山渓中学校　教育サポート報告>
山崎　淳

【教育の現場】
定山渓中学校１年生　１クラス３名（男１名、女１名で１名欠席）
平成 20 年６月 25 日　午後 11:50～12：40（4 時間目）
総合学習（パワーポイント）
タイトル「私と定山渓」
担　当：山崎　淳
サポート：人見　美哉

【授業サポートの背景】
翌日の豊平峡ダム・発電所の現地見学に先立ち、事前にダムについての知見をフォローする、といった要請であった。

【授業のすすめ方】
基本的には昨年度の授業内容を継承。ダム見学前の授業ということを意識しつつ、また社会科の授業であるとのことなので、以下の点に絞って２５分程度パワーポイントで説明した。

１．定山渓近辺のインフラ（鉄道・国道・ダム・橋）の変遷を作成。年度の違う３種類の地形図を比較する事によって理解してもらう。
２．ダムの役割（治水・利水・その他）を豊平峡ダム・定山渓ダムの建設の背景を通して知ってもらう（札幌市の水道需給予想、昭和５６水害等）。
３．いろいろな型式のダムが有ることを知ってもらう。

１．については地形図だけでは理解しがたいので、疑似体験として航空写真を実体視してもらった。半分程度をこの実習にあてた。また、時間も限られていることから最後のまとめはあえて行わなかった。

【感想】
今回はパワーポイントと同じ資料を配布し、子ども達にも考えてもらいながら授業を進める形をとった。その中で定山渓周辺が社会的観点からどのように変化してきたかを地形図から読み取って発表してもらい、自分の町の変化を自分の力で気がついてもらった。最初は生徒達には少々難しかったようだが、ヒントを与えると反応がよくなり積極的にかかわってもらえた。

また航空写真の実体視では、いきなりスムーズに実体視できない可能性があるとの考えから、３Ｄ効果のわかりやすい身近にあるものを対象に写真を何枚か作成し、最初に見てもらった。その効果は絶大で、「うわー、すごい！」との声が聞かれた。その後、建設中の定山渓大橋（自分たちの通学路）が見える写真や、ダムの有無が確認できる新旧の写真を見たりして、生徒が航空写真に関心をもって授業を進めることができた。

少子化に伴い、1 年生が 3 名（当日は 2 名）しかおらず、学校の存続問題も浮上してきて

いるようである。学校が存続する限り、サポート授業は続けたいと思っている。最後に、サポートしていただいた方々、裏方で活動していただいた方々にはこの場をお借りして御礼申し上げます。

（文責：人見　美哉）

授業風景（１）　山崎氏の軽快なトークによる授業風景

授業風景（２）　大人（職員）にも大人気！